

図 22 ジクロロ酢酸 (左), トリクロロ酢酸 (中), ジクロロアセトニトリル (右) の濃度分布比較

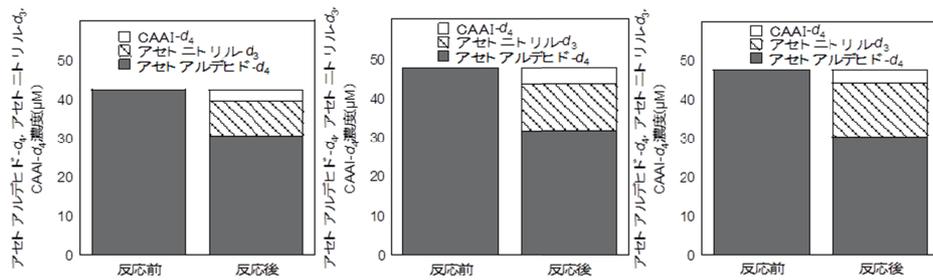


図 23 初期アセトアルデヒド- $d_4$ 濃度と反応後のアセトニトリル- $d_3$ , アセトアルデヒド- $d_4$ 濃度と初期アセトアルデヒド- $d_4$ 濃度から反応後のアセトアルデヒド- $d_4$ , アセトニトリル- $d_3$ 濃度を差し引いて算出した CAAI- $d_3$ 濃度(上左:1 回目, 上右:2 回目, 下:3 回目)

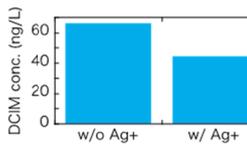


図 24 I 除去のDCIM生成量への影響  
(左: 下水処理水, 右: 琵琶湖水)

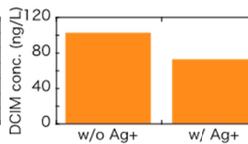


図 25 I 添加 (10 μg/L) のDCIM生成量  
(左: 下水処理水, 右: 琵琶湖水)

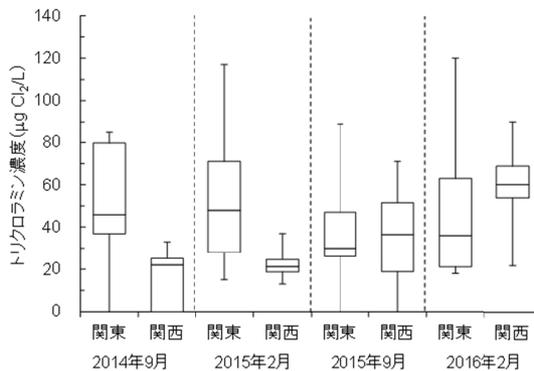
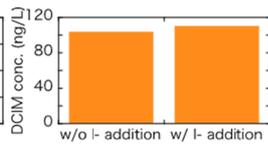
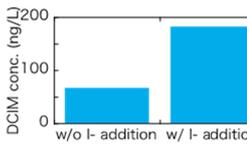


図 26 水道水中のトリクロラミン濃度の夏季, 冬季の分布